

学会案内・プログラム



第50回 日本臨床細胞学会 東北支部連合会学術集会

学術集会会長 鬼島 宏

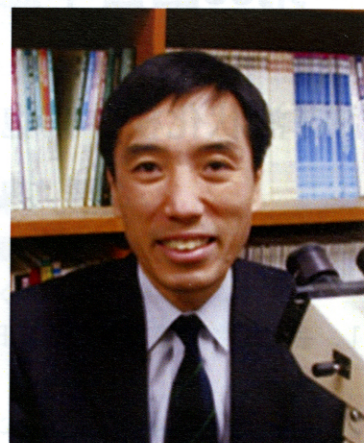
期日 平成25年7月6日(土) 10:00～

会場 ベストウェスタンホテルニューシティ弘前
3階 プレミアホール

〒036-8004 弘前市大町1-1-2 電話 0172-37-0700

第50回日本臨床細胞学会 東北支部連合会学術集会 開催にあたって

学術集会会長 鬼 島 宏



第50回日本臨床細胞学会東北支部連合会学術集会を弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座で担当させていただくことに、会員の皆様に対して心より感謝を申し上げます。臨床医学における細胞診断学的重要性が唱えられて久しく、特にがん医療に関わる腫瘍医学において需要が著しく増しております。また近年の基礎医学の進歩に伴い細胞病理学の診断精度や病態解析についても飛躍的な向上がみられています。

第50回の節目に当たる本学術集会では、「液状化検体細胞診 (Liquid Based Cytology, LBC) の新展開」をテーマといたしました。シンポジウムは、Liquid Based Cytology (LBC) の現状と応用と題して、各県のシンポジストより、婦人科細胞診においてLBC導入の現状や問題点、新たな応用を含めた展開、さらには婦人科以外の領域における応用などを報告していただくとともに、将来の展望について討論していただくと思っております。特別講演には、自治医科大学附属さいたま医療センター産科婦人科教授の今野 良先生をお招きし、「包括的子宮頸がん予防一検診の現状と将来」のお話を伺うことといたしました。また今回は教育講演を計画し、伊藤病院 佐々木栄司先生より甲状腺疾患のお話を、総合病院回生病院 船本康申先生よりリンパ球増殖性疾患のお話を伺うことしましたので、これら講演が日々の細胞診断の新たな糧となることを望んでおります。なお、教育講演の内容は、学術集会翌日 (7月7日) に開催される「細胞診セミナー in 弘前 2013」と連携しておりますので、学術集会とは別途開催ですがセミナーにも合わせてご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。スライドセミナーは、頻度の高い消化器・泌尿器・呼吸器の3領域に設定いたしました。ランチョンセミナーには、防衛医科大学病態病理学講座教授の津田 均先生に「乳がん・胃がんのHER2検査と精度評価」をお願いしており、精度管理も含めた興味深いお話が聴けると思います。

限られた時間に盛りだくさんの内容を入れたプログラムですが、細胞診断の将来を見据えつつも、参加された皆様の細胞診断のお役に立てるようになれば幸甚です。

東北新幹線新青森伸長により東北支部連合の各地域から弘前へのアクセスも向上し、日帰りも十分に可能となりました。古都弘前は、弘前城・社寺に加え、幾多の伝統的洋風建築を擁しており、珈琲・アップルパイの街でもあります。日頃ご多忙の会員の皆様におかれましては、お時間の許す限り暫しの寛ぎを味わっていただければと祈念申し上げます。



第50回日本臨床細胞学会 東北支部連合会学術集会・事務局

〒036-8562 青森県弘前市在府町5
弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座（担当：成田）
Phone：0172-39-5029
F A X：0172-39-5030
E-mail：patho2of@cc.hirosaki-u.ac.jp